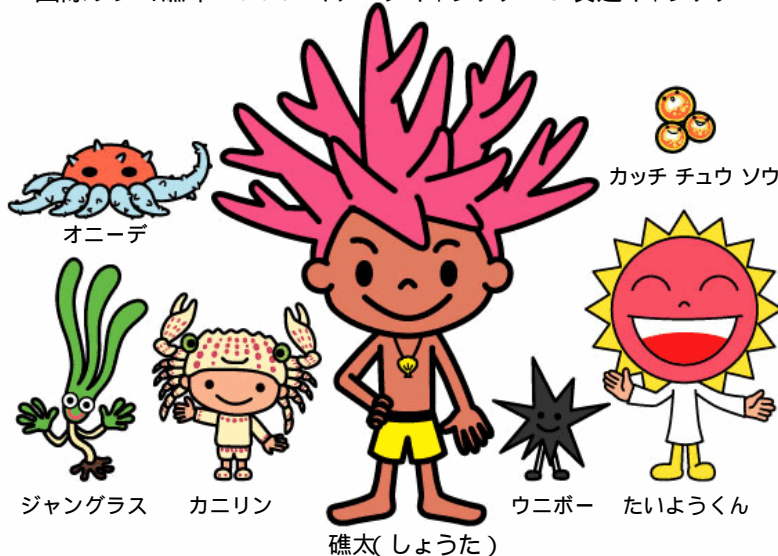




国際サンゴ礁年2008 イメージキャラクター&友達キャラクター



キャラクター名は「礁太」

国際サンゴ礁年

サンゴ礁保全のための国際的枠組み「国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)」は今年を「国際サンゴ礁年」として、サンゴ礁の維持と保全活動を展開しています。日本でもさまざまな活動がおこなわれていますが、もっと多くの人に知ってもらうための「応援団」として、イメージキャラクターと友達キャラクターが決定しました。



**国際サンゴ礁年2008
イメージキャラクター決定!**



**日本の輸入食糧 海外産
の水427億トンで生産**

日本への食糧輸入に伴って生じる輸出国の水使用量が、1年間の合計で約42.7立方キロ・メートル(427億トン)に及ぶことが、東京大生産技術研究所の沖大幹教授らの研究グループの推計でわかった。

これは国内の食糧生産に使う年間農業用水量(約55立方キロ・メートル)の8割

今年には各国がサンゴ礁保護などに協力して取り組む「国際サンゴ礁年」。企業や非政府組織(NGO)などで作る推進委員会と環境省は2日、サンゴ礁の保全活動をPRするイメージキャラクターを「礁太(しょうた)」と命名したと発表した。

名前は昨年12月から今年1月まで公募。1524件の中から福島県の木幡恭一さん(76)らの作品が採用された。

礁太の友だちキャラクターとして、ウニの「ウニポー」、アカホシサンゴガニの「カニリン」など、サンゴ礁の海や周辺に暮らす生き物を素材にした6点も決定。

今後、礁太とともにサンゴ礁の価値や、直面している危機について広く知ってもらおうと普及啓発活動を進める。

【平成20年3月2日 共同通信社】

に相当する。使用量の1割近くは、輸出国で枯渇が懸念される地下水と見られ、将来的に日本の食糧確保に大きな影響を及ぼす可能性が浮き彫りになった。

沖教授らはこれまで輸入される食糧の生産に必要な水の量「バーチャル・ウォーター(仮想水)」を年間約62.7立方キロ・メートルと推定したが、日本で生産した場合の数値を用いて計算したため、必ずしも輸出国の実態が反映されていなかった。

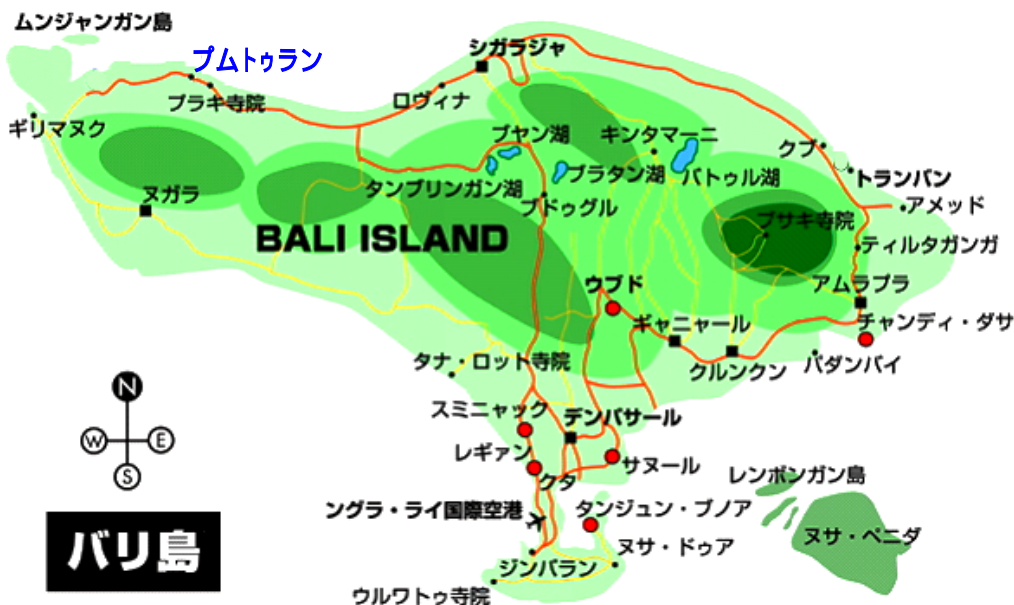
今回、研究グループは、輸出国の食糧生産実態に即し、河川からの取水、貯水池の操作による引き水の量などを細かく計算。日本に輸入される主要な小麦やトウモロコシなどの穀物類、牛肉や豚肉などの畜産物類計8種の生産に使われる水の量を「ウォーター・フットプリント」として求め直した。

その結果、総量は約42.7立方キロ・メートル。その供給源を見ると、全体の約83%(約35.4立方キロ・メートル)を降水が占める。残りは引き水で、枯渇が予想される地下水は、全体の約6.8%(約2.9立方キロ・メートル)に達していた。特に最大の輸入相手国である米国で、地下水の依存度が高いこともわかった。

沖教授は「有限な地下水がかなりの割合で使われており、これが枯れてしまうと価格高騰などにつながる恐れがある。世界の水問題が、日本でも密接にかかわっていることが改めて裏付けられた」としている。

【平成20年3月1日 読売新聞】

低電圧電流を使用した、ユニークなサンゴ再生方法



サンゴ礁の再生は国際的な課題になっています。今回はインドネシアのバリ島でおこなわれているユニークな方法を紹介します。

【バリ島北部、プムトゥラン発】
夕暮れの太陽が、ビーチを心地よい暖かさで満たし、静かな波は浜辺にそっと打ち寄せる。そんな海辺を散歩していると、細かな黒い砂に埋もれた、白いケーブルの束につまずく。

ケーブルは海中へと伸びて、やがて見えなくなる。その先の海上には、青い大きなプラスチック製のボールが波間に揺れている。

バリ島北西部の海岸で見られるケーブルの太い束は、海中でおこなわれている独創的な実験の一部だ。それは、低電圧電流を用いて、破壊が進んだサンゴ礁の再生を促そうというのだ。

サンゴの専門家である米国のトム・ゴロー氏と、ドイツの建築学者、ボルフ・ヒルベルツ氏が考案したこのプロジェクトは、サンゴ礁の再生に目覚ましい成果をあげている。

全長約300メートルにわたって展開されている、この『カラン・レスタリ・プロジェクト』（インドネシア語で「サンゴ保護」の意味）は、この技術を使ったサンゴ育成場としては、世界最大のものだ。

「ほんの短い期間で、サンゴにはつきりと違いが出てくる」と、リーフ・シーン・アクアテイクス・ダイブ・センターのクリス・ブラウン氏は話す。同センターは、地元のホテルや商店と共同で、このプロジェクトに資金を提供している。

インドネシアには、世界中で確認されている793種の造礁サンゴのうち、581種が生息して、その大部分がプムトゥラン湾に集中している。

この地域は長年、スキューバダイバーたちにも人気のスポットとなってきたが、サンゴが死滅するようなことになれば、地元の観光業にも影響が及ぶことになる。

海面下約3メートルから6メートルの砂地の海底には、建設用鉄筋を格子状に溶接した、大きなこのような構造物が数多く置かれている。

上から見ると、水面下に、ジャンクルジムやうんてい、すり鉢型をした回転遊具など、まるで子どもたちの遊び場のようなのだ。

電流を流すワイヤーは鉄筋にしっかりと張りめぐらされ、陸上の電源設備につながっている。ブラウン氏の見積もりによると、週あたりの電力使用量は、60ワット電球1個を1カ月間点灯した場合とほぼ同じだという。

ブラウン氏はオーストラリア出身で、タマン・サリ・バリ・コテージの経営者でもあり、この



よみがえれ サンゴ礁！ バリ島でおこなわれている



プロジェクト開始時に1万5000ドルの資金を提供している。

同氏によると、電流を流しはじめてから数日で、鉄筋の周りに白い石灰岩の膜ができていくという。この膜がサンゴの成長に必要な培地になる。

その後、この格子状構造物に生きたサンゴの小片を植えつけると、通常の5倍から10倍の速さで成長し始め、色も鮮やかになり暑い気候や汚染に対する回復力も増す。

サンゴは、鉄筋に直接植え付けられたり、ワイヤーで固定されたり、特別に作られた隙間に埋め込まれる。また、ソフトコーラル類や海綿

動物、イソギンチャクなども移植された。

すると1カ月もしないうちに、鮮やかな色を帯び、約1センチまで成長したサンゴの姿が確認された。電流がうまく流れなかった格子では生育が鈍く、色もさえないかった。

再生したサンゴ礁の周辺には、イカ、ウニ、ヒトデが集まってきた。また、ツバメウオ、スズメダイ、掃除魚と呼ばれるペラ類のほか、たくさんの方ダイも群がってきた。

プロジェクトが始まった当初、このサンゴ礁は「完全に不毛の地」だったという。1990年代初めのエルニーニョ現象によって、サンゴ礁は色あせ、浅瀬のサンゴの大半が死滅していた。

また、1990年代半ばには、サンゴを食べるオニヒトデが大量発生し、絶滅寸前までだった。このときはダイバーたちの協力で、オニヒトデのほとんどを海から取り除いたという。

さらに、1998年のアジア経済危機で、経済的に苦しくなった漁民が、爆発物などを使う破壊的漁業を行なった結果、サンゴ礁にいつものダメージが加わった。

ここでは、長期的にサンゴにもっとも悪い影響を及ぼすのは、爆発物を使う漁業だということとを、地元の人々に説明してきた。

やがてプムトゥランの漁民たちは、海へ行って爆発物のスイッチを切るようになった。

海の保護が将来につながるということを納得

してもらったためには、啓蒙・対話・実践が必要だったのだ。

協力している人たちは、このプロジェクトが単なる生態系の復元にとどまらず、急速に消滅しているサンゴとサンゴ礁で繁殖する魚の保護に役立つ投資だと考えている

ブラウン氏は、サンゴ礁を再生・増殖させる方法には、もっと費用のかかるものもあるが、資金が出せない国々に、この手法を広めたいと考えている。

そして「電気が、サンゴを強くし、周辺のサンゴの状態にも良い影響を及ぼすことがわかった。この方法は、今でも状態のよいサンゴをいっそう良いものにもできる手段なのだ」と語っている。

参考文献【タマンサリバリコテージ資料】

お料理にもお飲み物にも手軽に使える カルシウム補給に カルかる・パウダー

無味無臭ですから、すべての食品に使えます。

未焼成サンゴをパウダー状にして、使いやすくしました。調味料などの空き瓶に入れてご使用ください。



ご飯や味噌汁、鍋物、煮物、パン、ケーキ、飲み物などどんなお料理にも手軽に使えます。ビールは泡立つのでダメですがそれ以外のお酒に入れるとカルシウムの補給もできて、悪酔い防止にもなるようです。

リン酸塩が入っているインスタント食品には、是非ご使用ください。

内容 サンゴパウダー・ビタミンC (50g x 2袋入り)
成分 カルシウム 35% マグネシウム 2.69% ナトリウム 0.29%
鉄 0.046% カリウム 0.0056% ビタミンC 1%

定価 2,310円(税込み)

使用しているサンゴは環境破壊とは無縁の風化造礁サンゴです。

浄水器販売業者に改善指示 岩手県

岩手県は14日、効能を偽って浄水器を販売したなどとして、特定商取引法違反で、浄水器等製造販売会社「エムピージー」（東京都）と同社の県内代理店「ライオネル」（盛岡市）に業務改善を指示した。

県によると、ライオネルの勧誘員は平成17年ごろから、会員勧誘の目的などを告げずに知人らを集め、「水道水がアルカリ性になり、体の毒が体外に出る」とうその効能を説明して家庭用浄水器などを販売したという。

同社をめぐっては、東北6県では計78件の相談が寄せられており、岩手県では33件（総額約1500万円）の契約が確認されている。

【平成20年3月14日 産経ニュース】

行政処分県、浄水器など販売の

マルチ業者を 東北初／岩手県

連鎖販売取引（マルチ商法）であることを告げずに説明会場で誘導し、家庭用浄水器などを買わせたとして県は14日、「エムピージー」（東京都墨田区）と、同社代理店「ライオネル」（盛岡市）に、業務改善を求める指示処分（特定商取引法）と勧告（県消費生活条例）を出した。県が同法に基づいて連鎖販売業者に行政処分を出すのは、東北で初めて。

県民生活センターによると、同社の勧誘員は05年度以降、盛岡市などで連鎖販売取引の勧誘だと告げずに知人や友人を説明会場で誘導。水道水の危険性についての実験やビデオ鑑賞などを行い、健康不安をあおって同社製品を買わせていた。

県内には約120人の勧誘員がいるとされる。

同センターに寄せられたエムピージー関連の相談件数は53件。被害者には中年女性が多く、被害金額は1人当たり最大で200万円に上るといふ。連鎖販売は友人や知人を通じて勧誘する場合はほとんど。人間関係が悪化するのを恐れて外部への相談をためらうケースが多く、行政処分に必要な証言は集まりにくいという。 【念佛明奈】

【平成20年3月15日毎日新聞】

「水道管が爆発」悪質業者を処分

「水道管が爆発する」とウソを言って、不安を煽っていました。水道管のサビを防止するなど謳った高額な商品を訪問販売で売りつけていた札幌の業者に対し、道は、会社名を公表して、業務の改善を指示しました。

処分を受けたのは、札幌市中央区の訪問販売業者「SAKURA」です。道によりますと、SAKURAは浄水器を付けている住宅を訪問し「取付け部分に錆がついている。放っておいたら水道管に圧力がかかって爆発する」とウソを言って、1台30万円もする「磁気活水器」を売りつけていました。

この磁気活水器は、「ライフフィルター磁気システム」という商品名で、その効果などについて道は、SAKURAに対し、科学的根拠を示すよう求めていましたが、返答はなかったということです。

SAKURAについては、これまでに3000件近い相談が寄せられていて、その被害者のほとんどは、65歳以上のお年寄りでした。札幌テレビ 【平成20年3月18日 さんこうワイド180】



特定商取引法が改正されます

悪質業者対策を大幅に強化した、特定商取引法と割賦販売法の改正案が、3月7日に閣議決定されました。今国会に提出されて、2009年の施行を目指しています。

規制対象を原則すべての商品やサービスに拡大して、法外な大量販売は契約後1年以内までは、解約できるようにしています。また、契約を取り消した場合、信販会社にすでに支払った代金も、返還請求できるようになります。

訪問販売の営業方法については、「勧誘を受けるかどうか消費者に確認するよう努める 断られたら再度勧誘しない」とのルールを明記。うその商品説明などへの罰則も、懲役刑を現行の「2年以下」から「3年以下」に、より厳しくしました。

クーリングオフの対象外である通信販売でも、業者が返品ルールを広告などに表示していない場合、契約後8日以内なら返品可能としています。

被害の対象となる商品の中には、残念なことですが浄水器の名前が時々でてきます。信販会社も今回の改正を見据えて、クレームの多い商品や会社の契約を認めないようになっていきます。

弊社ではクーリングオフの発生も皆無で、信販会社との契約も既存のままですが、すでに契約を打ち切られた会社が多数でています。

これからも、問題になるような商品や営業とは一線を画して、正しい説明と法令遵守を心がけていきたいと思えます。